



2023 夏 号

No. 122

～ 特集 ～

【流域治水対策の取り組み】

・滋賀県

「県管理河川における気候変動を踏まえた治水計画のあり方」の策定について

・兵庫県

津門川の地下貯留管整備事業について

・京都市

新川改修事業について

～トピックス～

・流域治水推進室

流域治水を「自分事」に！

～きんきのダム巡り～

・奈良県 大門ダム

～インフォメーション～

ページ

河川紹介

2

大川（大阪府）

.....

Ⓐ

特集

『流域治水対策の取り組み』

3

「県管理河川における気候変動を踏まえた
治水計画のあり方」の策定について

.....

Ⓑ

滋賀県 土木交通部 流域政策局

5

津門川の地下貯留管整備事業について

.....

Ⓒ

兵庫県 土木部 河川整備課

7

新川改修事業について

.....

Ⓓ

京都市 建設局 土木管理部 河川整備課

トピックス

9

流域治水を「自分事」に！
～近畿ブロック流域治水行政担当者会議を初開催～

.....

Ⓔ

近畿地方整備局 流域治水推進室

10

大門ダム

.....

Ⓕ

奈良県 県土マネジメント部 河川整備課

インフォメーション

11

滋賀県内初！「大戸川ダムコーヒー」及び「滋賀県ダム
コーヒー発祥地の聖地」に認定されました

.....

Ⓖ

近畿地方整備局 大戸川ダム工事事務所 調査設計課

12

「森と湖に親しむ旬間」関連行事予定

近畿地方整備局 河川部 地域河川課

13

第31回全国川サミット IN 守山・琵琶湖

滋賀県 土木交通部 流域政策局

14

第15回淡海の川づくりフォーラム参加団体募集！

.....

Ⓗ

滋賀県 土木交通部 流域政策局



水都大阪を代表する大川は、旧の淀川本流であり、大阪市内を流れて、土佐堀川、堂島川、安治川と名前を変えながら大阪湾にそそいでいます。

桜並木が続く川沿いには、「大阪ふれあいの水辺」などの親水施設や船着場等が整備され、また、護岸や橋梁がライトアップされていて、賑わいを創出しています。毎年6月～7月に開催される大阪天満宮の天神祭では大川周辺に多くの人が訪れ、親しまれています。

一級河川 大川（おおかわ）



※図中 A～H は記事の位置を示しています。



桜並木のライトアップ



水上バス



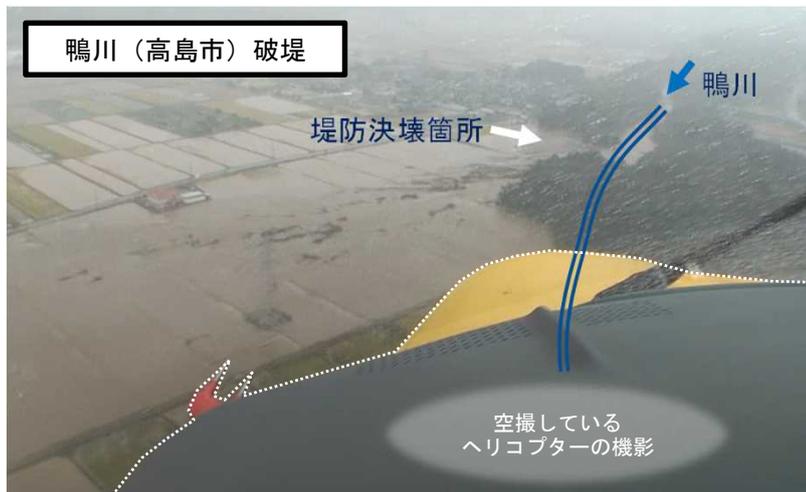
大阪ふれあいの水辺

「県管理河川における気候変動を踏まえた治水計画のあり方」の策定について

滋賀県 土木交通部 流域政策局

○ “気候変動による降雨量の増加” と “河川管理者としての対応”

近年、気候変動の影響により、全国各地で大雨による災害が激甚化・頻発化しており、これまで比較的水災害の少なかった滋賀県においても、平成25年台風18号では、記録的な大雨により、県内の多くの河川で増水し、堤防が決壊するなど、甚大な被害となりました。



さらに、IPCC（国連気候変動に関する政府間パネル）が平成25年～26年に公表した第5次評価報告書では、「気候システムの温暖化には疑う余地がない」とされており、今後も気候変動の影響により降水量が増大することが懸念されています。

このような状況を踏まえ、令和2年7月には、国の社会資本整備審議会において「気候変動を踏まえた水災害対策のあり方について」の答申がなされ、気候変動による降雨量の増加を考慮した目標に見直すことや「流域治水」への転換が示されました。

当県では、これらの答申などを踏まえ、県内における気候変動に伴う降雨量変化の分析、当県の治水計画の考え方を踏まえた気候変動に伴う外力の評価、県管理河川における気候変動を踏まえた治水計画見直しの考え方について、具体的な検討を進め、令和4年10月に「県管理河川における気候変動を踏まえた治水計画のあり方」を策定しました。

*外力とは…外から作用する力のこと。治水計画においては“川に流れ込む水”すなわち降雨量を外力として考えることが一般的。

○ 「県管理河川における気候変動を踏まえた治水計画のあり方」策定に向けた検討

① 県内における気候変動に伴う降雨量変化の分析

分析にあたっては、国の技術検討会で公表された提言における考え方に準じ、現在気候と将来気候との降雨量の比（降雨量変化倍率）をもって評価する手法としました。

分析の結果、県内における降雨量変化倍率は、現在気候と比較して将来気候・2℃上昇では約1.1倍（平均1.05倍）、将来気候・4℃上昇では約1.2倍～1.3倍（平均1.23倍）となりました。

表 気候変動に伴う降雨量変化倍率（滋賀県域・近畿地方）

		降雨継続時間			備考
		12時間以上	3時間以上 12時間未満	3時間未満	
滋賀県域	2℃上昇	1.03	1.05	1.07	年超過確率：1/10、1/30、1/50、1/100 雨域面積：50、100、200、300、400km ²
	4℃上昇	1.24	1.25	1.21	
近畿地方	2℃上昇	1.1	1.1	1.1	年超過確率：1/100 雨域面積：400、1600、3600km ²
	4℃上昇	1.2	1.3	—	

概ね同様の傾向となった

*2℃、4℃上昇時の降雨量変化倍率は、産業革命以前に比べて全球平均温度がそれぞれ2℃、4℃上昇した世界をシミュレーションしたモデルから試算

近畿地方の出自：気候変動を踏まえた治水計画のあり方提言（令和3年4月改訂）

② 当県の治水計画の考え方を踏まえた気候変動に伴う外力の評価

当県では、治水計画の基本となる高水流量（流域に降った雨がそのまま川に流れ込んだ場合の流量）の算定にあたり、ほとんどの河川では**滋賀県降雨強度式**から外力を設定して高水流量を算定しています。一部の比較的流域面積の大きい河川では、当該流域における雨量観測データの解析から高水流量を算定しています。

* **滋賀県降雨強度式**とは… 地域の降雨特性を表現するため、各都道府県で「雨の継続時間」と「雨の強さ」の関係を示す「降雨強度式」が作成されている。「滋賀県降雨強度式」の作成においては、長期間の資料が整理されている彦根地方気象台の雨量データを元にしており、県内の観測最大値である明治29年9月降雨（日最大雨量596.9mm）の記録を考慮している。

現行の滋賀県降雨強度式で評価された外力と、気候変動の影響を考慮した外力を比較したところ、滋賀県降雨強度式で評価された外力の方が大きくなることが確認されました。これは、現行の滋賀県降雨強度式が、観測最大値を考慮した形で作成されているためです。

以上より、**滋賀県降雨強度式から外力を設定している河川**については、同式に既に気候変動に伴う外力の増分が包含されていることから、治水計画の策定においては**これまで同様、同式による外力を算定すること**とします。

また、**当該流域における雨量観測データの解析から高水流量を算定している河川**については、**県内における2℃上昇時の変化倍率（1.1倍）**をもって、気候変動に伴う外力を算定することとします。

③ 県管理河川における気候変動を踏まえた治水計画見直しの考え方

河川の流域規模や整備状況を踏まえ、県管理河川における気候変動を踏まえた治水計画見直しの考え方について、次表のとおり整理しました。

表 県管理河川における気候変動を踏まえた治水計画見直しの考え方

	滋賀県降雨強度式により外力を設定している河川	当該流域の降雨特性を考慮して外力を設定している河川		
治水計画における気候変動に伴う外力評価の考え方	現行の降雨強度式から算定される外力は、分析の結果、気候変動に伴う降雨量の増分を包含していることから、気候変動考慮後も、 現行の降雨強度式から算定される外力を用いる。	気候変動考慮後は、 県内の2℃上昇時の降雨量変化倍率（1.1倍）を用いて気候変動に伴う外力を算定* する。 ※下流に直轄区間が存在する河川（大戸川、野洲川）については、同区間の考え方と整合を図る		
		<ul style="list-style-type: none"> ■ 暫定規模（整備計画レベル） 【戦後最大実績洪水を採用している河川】 2010年までの代表洪水の降雨波形を降雨量変化倍率で引き延ばした波形、もしくは2011年以降の代表洪水の降雨波形から算定されるピーク流量を算定し、それらを比較検討のうえ、整備計画流量を算定 【戦後最大確率洪水を採用している河川】 2010年までの雨量標本を用いた水文統計解析により確率雨量を算定し、これに降雨量変化倍率を乗じたものを気候変動考慮後の計画降雨量として整備計画流量を算定 ■ 計画規模（基本方針レベル） 2010年までの雨量標本を用いた水文統計解析により確率雨量を算定し、これに降雨量変化倍率を乗じたものを気候変動考慮後の計画降雨量として基本高水と計画高水を算定 		
気候変動を踏まえた治水計画見直しの考え方	上記により、気候変動に伴う治水計画の 見直しは行う必要はない。	新規に治水計画を立案する河川	暫定整備完了の目途が立っている河川	暫定整備中の河川
		気候変動を踏まえた治水計画を 立案 する。	気候変動を踏まえた治水計画に 見直し す。	まずは、現行の河川整備計画に位置付けているメニューの整備を加速 させ、当該河川全体の暫定整備が完了した段階で、気候変動を踏まえた治水計画に見直すこととする。ただし、気候変動を踏まえた治水計画を検討し、その結果、 できるだけ手戻りのない整備が可能であれば、整備計画変更のタイミングでの計画への位置付けを考えていく。
備考	比較的流域面積の小さい県内の多くの一級河川	大戸川※	芹川	野洲川、日野川、余呉川、姉川・高時川、天野川、安曇川、石田川

〇おわりに

※国が計画している大戸川ダムの上流区間

この記事では、気候変動を踏まえた治水計画のあり方について、滋賀県における検討結果をご紹介します。滋賀県ホームページに「県管理河川における気候変動を踏まえた治水計画のあり方」の本文や説明資料を掲載しておりますので、以下のアドレスおよびQRコードからご覧ください。

滋賀県ホームページ（県管理河川における気候変動を踏まえた治水計画のあり方の策定）
<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kendoseibi/kasenkoan/327658.html>



つとがわ
津門川の地下貯留管整備事業について

兵庫県 土木部 河川整備課

〇はじめに

兵庫県では河川整備計画に基づき、流下能力を向上させるための河道対策や洪水調節施設整備による都市浸水対策等を重点的に推進しており、代表的な事業として津門川地下貯留管整備事業を紹介します。

〇事業概要

東川水系の津門川は、兵庫県西宮市中央部を南北に貫流して東川に合流する延長約3,500mの二級河川です。津門川周辺は阪急西宮北口駅をはじめ、高度に都市機能が集積し、JR東海道本線、国道2号等の阪神間を結ぶ重要交通網が東西に横断しています。

しかし、過去から豪雨により浸水被害が度々発生し、近年でも平成11年、25年に上流部で床上浸水等の被害が発生しており、周辺住民の命や暮らし、経済活動等への被害を軽減する対策が求められています。

このことから、本県では20年に1回程度の降雨で発生する洪水に対して浸水被害を軽減するため、1,782mの地下貯留管を整備し、洪水を貯留することで治水安全度の向上を図っています。

また、河川整備基本方針では、この地下貯留管を大阪湾まで延伸し、約3,800mの地下河川として運用することとしています。



【図1 津門川整備位置図】



【写真1 H25年浸水状況(市道北口線アンダーパス)】



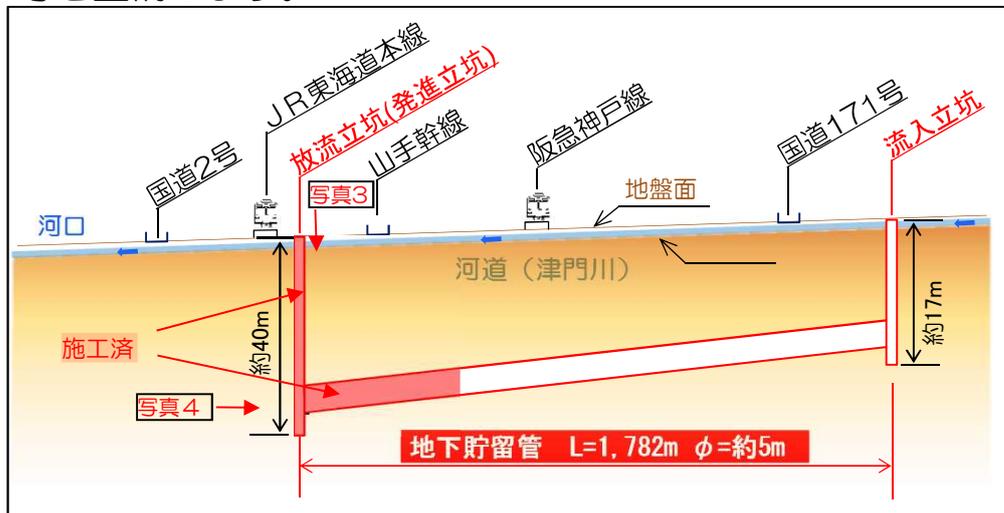
【写真2 H25年浸水状況(国道171号付近)】

○施工内容

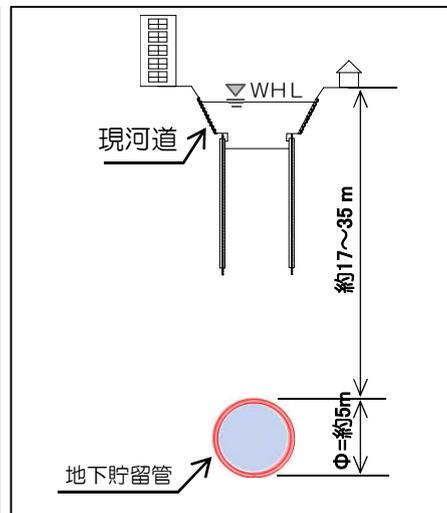
阪急西宮北口駅北西部の国道171号付近からJR西宮駅北東部に至る延長1,782mの区間においてシールドマシン（内径約5m、写真5）により地中を掘削し、地下トンネル（地下貯留管）を整備しています。

また、本現場は酒造りにも使用される「宮水」など地下水が豊富なことから、放流立坑（約40m）に地下水が浸入しないようニューマチックケーソン工法で施工しています。

地下トンネル（地下貯留管）の掘削完了後、流入立坑や放流立坑のポンプ排水設備等を整備します。



【図2 縦断面図】



【図3 横断面図】



【写真3 放流立坑】



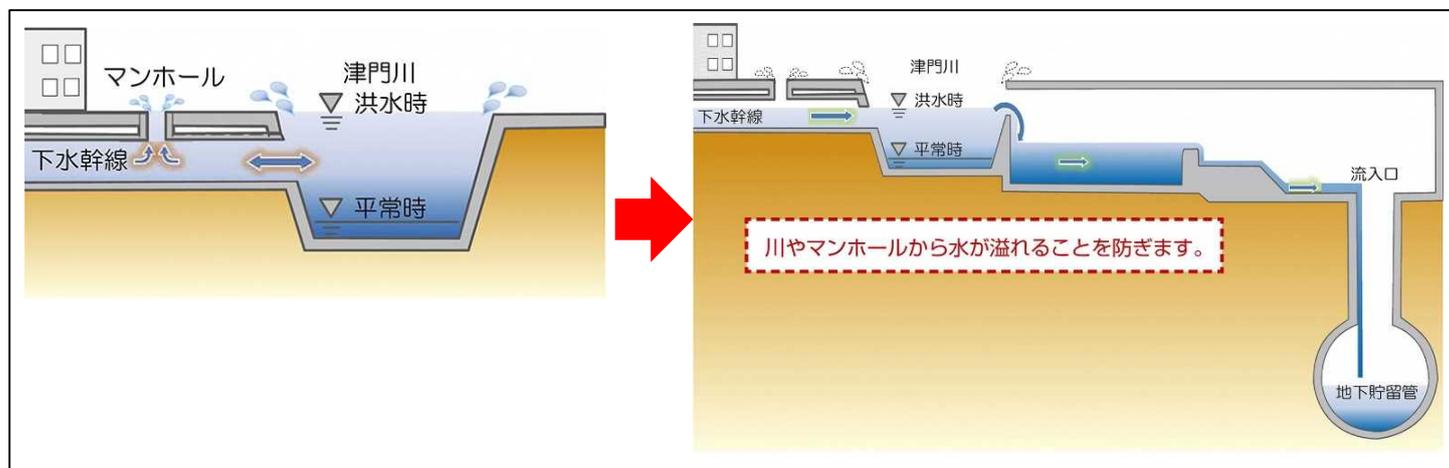
【写真4 地下貯留管】



【写真5 シールドマシン】

○事業効果

津門川の水位が上昇した際、地下貯留管に34,000m³（25mプール×56杯分相当）を貯留し、20年に一回程度の降雨で発生する洪水に対し、安全を確保します。



【図4 事業効果イメージ図】

○おわりに

令和5年3月に「さらさ」を担当する近畿の若手職員に本現場の見学に来ていただきました。その後、地下貯留管の掘削を進め、5月末時点で約500m掘削が完了しています。現場状況が変化しており、再度現場見学を行い行政間の連携を深められればと考えています。

新川改修事業について

京都市 建設局 土木管理部 河川整備課

○新川について

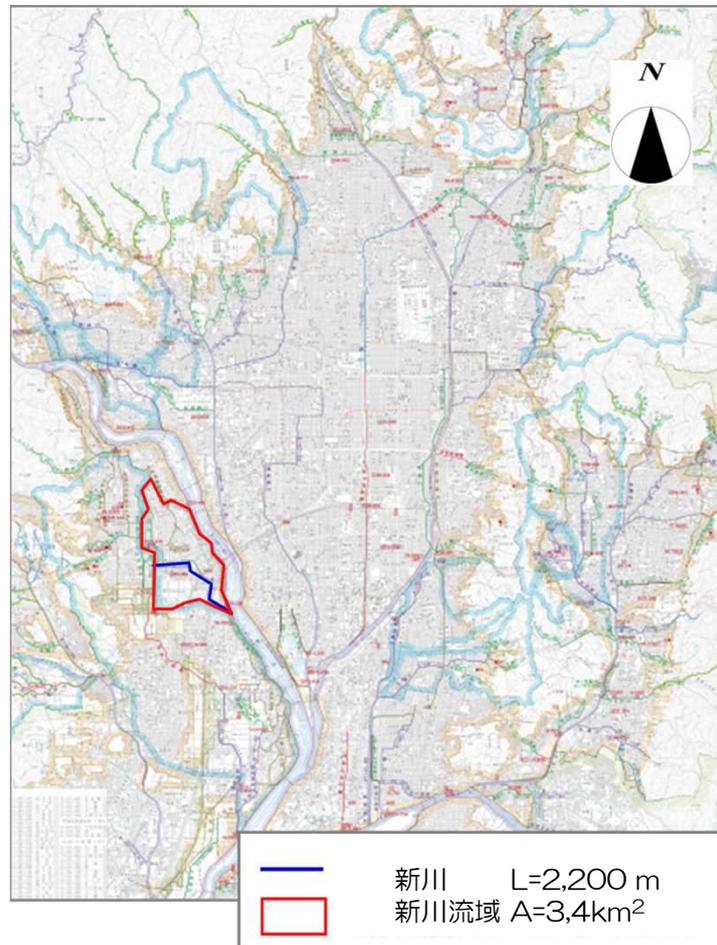
新川は、京都市内を流れる桂川右岸流域に位置し、流域内の田畑・宅地の排水を集めて、上久世で桂川に合流する、延長2.2km、流域面積3.4km²の一級河川です。

流域では昭和初期に阪急桂駅が開業し、周辺の開発が進められました。しかしその一方、流域は農業地域でもあり、桂川に沿って広がる田畑は地域の雨水の受け皿ともなっていました。

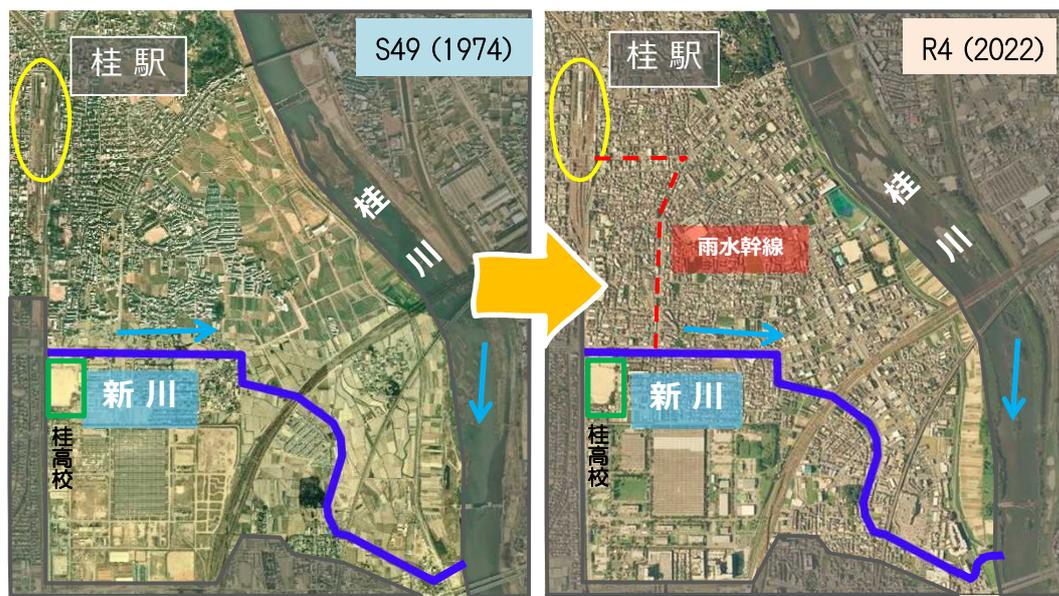
ところが、昭和40年以降急速に流域の市街化が進み、雨水がしみこむ土地が減ったことから都市型水害が発生するようになりました。

この浸水被害を防ぐため、本市建設局による新川本川の河川改修だけでなく、本市上下水道局による雨水幹線の整備と合わせた流域単位での治水事業を推進しています。

本稿では、その新川にまつわる河川改修事業について紹介します。



○土地利用の変化



新川流域の市街化の様子(写真:国土地理院)



過去に発生した浸水被害の様子

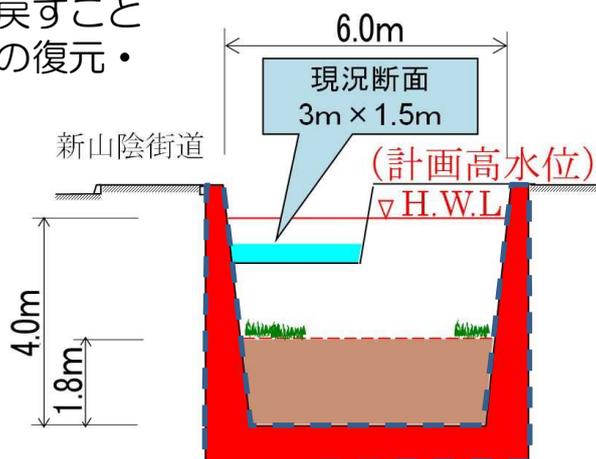
航空写真から、新川流域は1974年時点で桂駅周辺は既に関業されているものの、そこから現在に至るまでに、桂川周辺(中央~右下)の都市化が進んだことがわかります。また、都市化に伴い、洪水・浸水被害(右写真)が発生しています。

○事業概要

新川は、「計画目標に対する治水安全度の不足」、「川沿いの資産の有無」、「流入先の桂川との整合性」を考慮し、概ね10年に1回の洪水を安全に流下させることを目標に実施しており、河川拡幅と河床掘削により、河川の断面を広げ、流下能力の向上を図っています。

現在、改修計画区間2,200mのうち、2,116mの整備が完了しており、令和9年度の完成を目指しています。

断面形状は、将来形（概ね50年に1回の流水を流下）の護岸を整備しますが、放流先の桂川の河床との整合を図るため、埋め戻しをしています。河床を埋め戻すことにより、河川に生息する生物の生育や繁殖環境の復元・創出に努めています。



⇐ **大型プレキャストブロック据付状況**
新川では、大型のプレキャストブロック（工場であらかじめ製造したコンクリート製品）を護岸工事で採用し、周辺への影響を最小限に留め工期の短縮を図っています。



改修前



改修後

○おわりに

京都市で取り組んでいる「雨に強いまちづくり」は、「流域治水」に先駆けて、ハード対策、ソフト対策を組み合わせた総合的な対策であり、関係局区の連携によって流域全体で水害を軽減させるものです。京都市では、今後も水災害への備えを加速させていきます。

○近畿地方整備局でも、流域のあらゆる関係者が協働して取り組む「流域治水」を推進しています。
○最近の取組としては近畿ブロック流域治水行政担当者会議を初開催しました。

流域治水を「自分事」に！

近畿地方整備局 流域治水推進室

流域治水施策の更なる推進に向けて近畿ブロック管内の国・自治体等の関係分野の行政担当者が一堂に会し、担当者会議を開催しました。

会議では、流域治水に関する最新動向や近畿ブロック内外の取り組み事例の共有、制度・運用に関する質疑・意見交換等を通じ、各担当者が流域治水を「自分事」として取り組む必要性を確認しました。

概要

- 日時 令和5年5月23日（月）
14:00～16:20
- 会場 大阪商工会議所（WEB併用）
- 参加者 470名(事前登録)
うち対面約70名
- 次第
 - ・各省庁各局からの情報提供
国交省(水国局、都市局、住宅局)
農水省、林野庁、気象台
 - ・近畿ブロック内の取り組み状況の共有
近畿地整：大和川流域の取り組み
大阪府：寝屋川流域の取り組み
 - ・先行地域の実践の話題提供
佐賀県武雄市：六角川流域の取り組み
 - ・質疑応答、意見交換



治水・治山・農水・下水・まちづくり等、以下の機関に所属の行政担当者が参加

関係2府6県、関係市町村、国土交通省本省、農林水産省本省、林野庁、近畿地方整備局、近畿農政局、各管区気象台、各地方気象台、近畿中国森林管理局、近畿財務局、近畿地方環境事務所、独立行政法人水資源機構、国立研究開発法人森林研究・整備機構

会議の様子



近畿地整流域治水推進室

特定都市河川浸水被害対策法の改正後、特定都市河川に全国初の指定となった大和川流域における流域治水の取組状況について共有しました。



大阪府

特定都市河川として流域治水を推進している寝屋川流域における取組状況について共有いただきました。



意見交換

今後、流域治水を深化させていくにあたっての課題などについて意見交換を行いました。

きんきのダム巡り



流域面積	0.58km ²
型式	重力式コンクリートダム
堤高	35.4m
堤頂長	122.0m
堤体積	26,700m ³
総貯水容量	177,000m ³
有効貯水容量	148,000m ³

だいもん 大門ダム(奈良県三郷町)

大門ダムは「しぎさん ちょうごそんしじ信貴山朝護孫子寺」など、豊かな歴史と自然に囲まれた県内有数の観光地「しぎさん信貴山」に立地しています。大門ダムは、1100年代に建設されたと言い伝えのある旧大門池の機能を受け継いでおり、信貴山のふもとに位置する実盛川の洪水調節及び河川維持用水を補給する機能を併せ持っています。

赤色の橋が2本かかっており、奥にある橋は開運橋といいます。昭和6年に架けられた全長106mの「じょうろ上路カンチレバー橋」という構造の橋であり、同構造では現存する中で日本最古のものとなります。平成19年には国の登録有形文化財に指定されました。



だいでがわ

滋賀県内初！「大戸川ダムコーヒー」及び「滋賀県ダムコーヒー発祥地の聖地」に認定されました

— 大戸川ダム工事事務所 —

ダムコーヒーは、ダムカード・ダムカレーに続く新たなダム啓発ツールとして、日本ダムコーヒー協会が認定するものです。

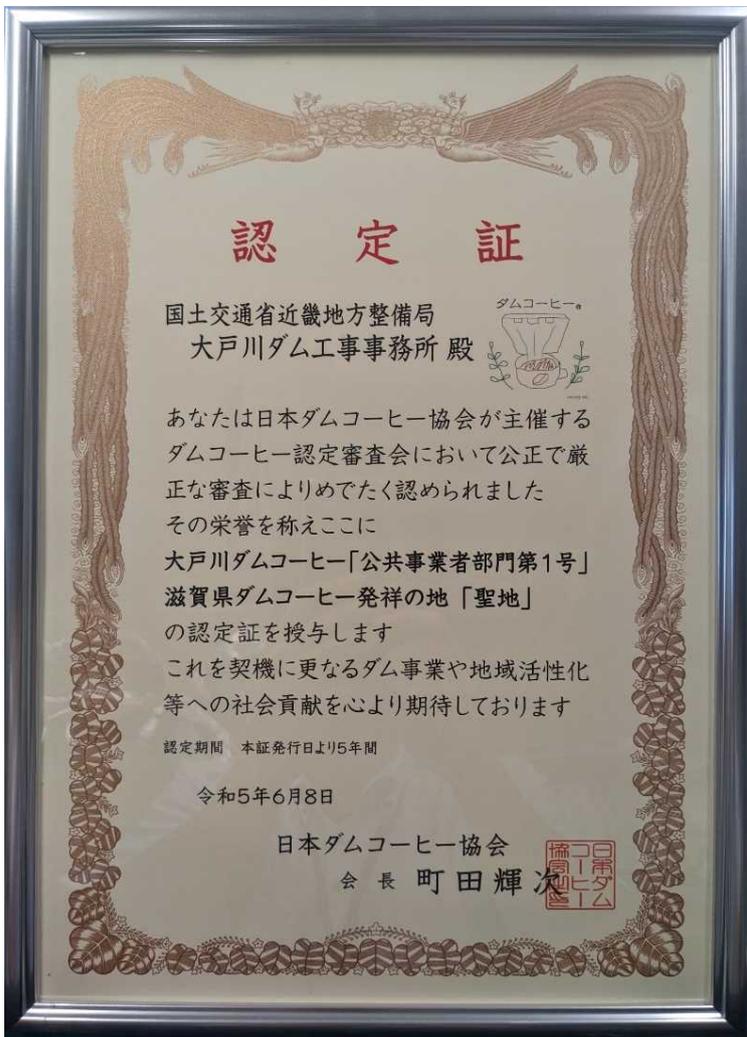
大戸川ダム工事事務所では、事務所で働く方や来客者が利用できるコーヒーメーカーを設置しており、今回、「大戸川ダムコーヒー」として申請し、認定されたものです（建設中のダムとしては日本初）。

また、大戸川ダム工事事務所は、滋賀県におけるダムコーヒー認定第一号（公共事業者部門）であることから、「滋賀県ダムコーヒー発祥の地『聖地』」としても認定されました。

大戸川ダム工事事務所へお越しの際は、是非「大戸川ダムコーヒー」をご賞味ください（有料）。



ダムコーヒー協会の町田会長から認定証を受け取る平田調査設計課長



日本ダム協会認定のダムマイスターでもある町田さんから大戸川ダムの事業概要などについてインタビュー（月刊「ダム日本」8月号に掲載される予定です）

＝ダムコーヒー認定とは＝

「全国のダムは、いつでも～どこでも～あなたと繋がっている！」を合言葉に、身近で手軽なコーヒーを縁に、全国に点在するダム水源の大切さを広く国民に知ってもらおう新たなグローバルツールとして「日本ダムコーヒー協会」が認定する制度です。※近畿では「一庫ダムコーヒー（水資源機構）、直轄では「長島ダムコーヒー（中部地整）」などが認定を受けています。

「森と湖に親しむ旬間」関連行事予定

国民の皆さんが森林や湖に親しむことにより、心身をリフレッシュしながら、森林やダム等のもっている自然豊かな空間や社会生活に果たしている役割について理解を深めていただくことを目的として、毎年7月21日から31日までを「森と湖に親しむ旬間」に位置付けています。本年度も各種行事が開催される予定です。



青野ダム多目的魚道の一般開放（青野ダム）



ふれあいハイキング（天ヶ瀬ダム）



狭山池博物館ツアー（狭山池）



真名川ダム見学会（真名川ダム）

近畿の主な行事予定

ダム名	所在地	行事名	内容	実施予定日	主催者	問い合わせ先
青野ダム	兵庫県三田市	青野ダム多自然型魚道の一般開放	多自然型魚道及び魚道観察施設の一般開放	7月1日～10月31日 (月曜日を除く。ただし、月曜日が祝日の場合は開放日とし、翌平日を閉鎖日とします。)	青野ダム管理所	青野ダム管理所 TEL: 079-567-1110
真名川ダム	福井県大野市	森と湖に親しむ旬間「真名川ダム見学会」	ダム内部の見学、木工教室、パネル展示、流木でつくった堆肥の無料配布など (笹生川ダム(福井県)の見学会も同時開催)	7月29日	森と水と湖に親しむ旬間行事運営連絡会	九頭竜川ダム統合管理事務所管理課 TEL: 0779-66-5300
笹生川ダム	福井県大野市	笹生川ダムの見学会	・笹生川ダム施設見学(真名川ダムと同時開催) ・福井県が管理するダムを紹介するパネル展示	7月29日	森と湖に親しむ旬間行事運営連絡会	九頭竜川ダム統合管理事務所管理課 TEL: 0779-66-5300
狭山(池)ダム	大阪府 大阪狭山市	狭山池再発見 ～親子で学ぼう河川見学会～	・狭山池ダムツアー(ダムの遠隔監視装置や管理コンピューターの見学) ・狭山池博物館ツアー(狭山池の歴史の学芸員による解説) ・狭山池副池ツアー(自然観察会)	7月29日	河川室、富田土木事務所	・河川室 TEL: 06-6941-0351 ・富田土木事務所 TEL: 0721-25-1131
九頭竜ダム	福井県大野市	森と湖に親しむ旬間「九頭竜ダム見学会」	ダム天端見学、長野発電所見学、パネル展示、流木の無料配布など	7月30日	森と水と湖に親しむ旬間行事運営連絡会	九頭竜川ダム統合管理事務所管理課 TEL: 0779-66-5300
天ヶ瀬ダム	京都府宇治市 宇治金井戸地先	JRふれあいハイキング	JR宇治駅から天ヶ瀬ダムまでのウォークラリー(片道 約5km)	8月11日	宇治市観光協会 宇治観光ボランティアガイドクラブ 国土交通省淀川ダム統合管理事務所	宇治観光ボランティアガイドクラブ TEL・FAX: 0774-22-5083 E-mail: uji-guide@white.plala.or.jp

第31回 ALL JAPAN RIVER SUMMIT

全国川サミット

IN 守山・琵琶湖

EVENT DAY

2023.10.21 SAT / 22 SUN

10月21日： 9：00～ 全国川サミット（一般参加）

10月22日： 10：00～ 淡海の川づくりフォーラム（一般参加）

主催：全国川サミット連絡協議会

守山市（第31回全国川サミットin守山・琵琶湖実行委員会）

共催：滋賀県・淡海の川づくりフォーラム実行委員会

後援：国土交通省近畿地方整備局（予定）

独立行政法人水資源機構琵琶湖開発総合管理所（予定）

協賛：一般社団法人近畿建設協会



河川 公益財団法人河川財団による
基金 河川基金の助成を受けています。

10.20 全国川サミット連絡協議会（関係者のみ）
会場：琵琶湖マリオットホテル

<http://www.city.moriyama.lg.jp>

第31回全国川サミット IN 守山・琵琶湖



テーマ：琵琶湖（赤野井湾）の再生

琵琶湖は、世界で約20しかない古代湖で400万年の歴史があり、60種を超える固有種が棲息し、近畿圏1,450万人の生活や農業・産業に欠かすことのできない命の水源地です。

しかし、琵琶湖の汚濁負荷が増え、1960年代後半から琵琶湖の水質悪化が問題になりました。

こうした中、本市に面する赤野井湾では環境改善に向けた地元漁協や自治会、環境団体、国、県、市の連携による取組を実施してきた結果、かつてのような豊かな環境が再生しつつあります。

全国川サミットでは、琵琶湖（赤野井湾）の再生や未来の川づくりの在り方について、全国の自治体のみならずと共により理解を深め、環境新時代に向け力を合わせることを目的として、第31回全国川サミットin守山・琵琶湖を開催します。

◆全国川サミットin守山・琵琶湖

日時：10月21日（土） 9時00分 から 12時00分まで（予定）

会場：守山市民ホール 大ホール

内容：①全国川サミット開会式 ②事例発表・パネルディスカッション
③サミット宣言

◆淡海の川づくりフォーラム

日時：10月22日（日） 10時00分 から 16時30分まで

会場：ピエリホール（ピエリ守山2階）

内容：淡海の川づくりフォーラム

淡海の川づくりフォーラムホームページ

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kendoseibi/kasenkoan/331318.html>



川サミットの予告動画です！ぜひご視聴下さい！



問い合わせ先：守山市環境生活部環境政策課（担当：田中・武田・前田）

☎:077-584-4691

✉:kankyoseisaku@city.moriyama.lg.jp

第15回 淡海の川づくりフォーラム参加団体募集！

日時 令和5年10月22日（日） 10:00～16:30（終了時刻は予定）

会場 ピエリホール ピエリ守山2階（滋賀県守山市今浜町2620-5）

淡海の川づくりフォーラムでは「川やびわ湖、水辺と共生する暮らし」「川やびわ湖、水辺と私たちのいい関係」を築いていくための参考となる“きらり”と光る活動を公開討論によって探し、その年いちばん輝く活動をみんなで表彰します。

活動の楽しさや苦労、失敗を乗り越えた時の喜びを川や水辺に関わる仲間たちと共有しましょう！ご応募お待ちしております！

申込方法等、詳しくは下記URL（滋賀県ホームページ）をご覧ください。

<https://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kendoseibi/kasenkoan/331318.html>



滋賀県ホームページ



応募はこちらから



淡海の川づくりフォーラムって？

- 川や水辺にまつわる活動を実践されている皆さんとともに、公開選考方式のワークショップを通じて、『川や琵琶湖、水辺と共生する暮らし』『川や琵琶湖、水辺と私たちのいい関係』について考えることを目的として実施しているイベントです。
- 平成20年度からおおむね年1回のペースで開催しています。

【問合せ先】第15回 淡海の川づくりフォーラム実行委員会事務局
滋賀県 土木交通部 流域政策局 広域河川政策室内

TEL 077-528-4270

E-Mail ha04@pref.shiga.lg.jp

■編集後記

しぎさん ちょうこそんしじ

大門ダムは、信貴山朝護孫子寺の近くにあるということもあり、観光するにも良いダムです。私も訪れたことがあります、実際の大きさ以上に迫力あるダムでした。

大川は昼間と夕暮れで大きく印象が変わります。休日などに、ゆっくり訪れて、一日の景色の変化を楽しんでみたいですね。

編集担当：国土交通省 近畿地方整備局 地域河川課

編集・発刊：三重県 福井県 滋賀県 京都府 京都市 大阪府 大阪市 堺市
兵庫県 神戸市 奈良県 和歌山県 国土交通省近畿地方整備局